



古賀弘幸 [こが・ひろゆき]

編集者。1961年福岡県生まれ。法政大学文学部卒業。出版社に勤務して書に関する雑誌・書籍などを企画・編集したのち、現在フリーランス。主な企画・編集に『書の総合事典』柏書房(2010年)など。著書に『文字と書の情報』工作舎、『書のひみつ』朝日出版社(2017年)。主な論文に『訂正符の研究』など。大東文化大学書道研究所客員研究員。

このたび、『文字と書の情報』[工作舎]と、『書のひみつ』[朝日出版社]のダブル刊行を記念して、著者の古賀弘幸さんの対談イベントを開催します。

対談のお相手は、『文体の科学』の山本貴光さんです。山本さんは同書において、「言葉のスタイルは思考のスタイルだ」と述べていますが、そうであるとしたら、「文字」の形もまた、私たちの思考のスタイルだと言えるでしょう。

百景 文字

世界は文字で満ちている！
書の「文体」の不思議に遊び、考えるタベ



斧



山本貴光 [やまもと・たかみつ]

1971年生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業。コーエーでのゲーム制作を経て、文筆家・ゲーム作家。著書に、最新刊『「百学連環」を読む』(三省堂)、『脳がわかれば心がわかるか』(吉川浩清との共著、太田出版)、他に『文体の科学』(新潮社)、『コンピュータのひみつ』(朝日出版社)ほか。訳書に『MiND—心の哲学』(吉川との共訳、J・サール著、朝日出版社)ほか。「哲学の劇場」主宰。

世界にはさまざまな文字があります。そして同じ文字の中にもさまざまな書き方の“文体”(スタイル)[=書体・書風]があります。有史以来の「書く」ことにまつわる文化をひもといてみましょう。そこにはどのような“文体”が見つかるでしょうか？

今回のイベントでは、さまざまな文字の形、そしてそれが私たちにもたらす魅力と謎について、古賀さんと山本さんに縦横無尽に語り合ってください。文字や書が好きの方、フォントや書き文字について目が行ってしまう方、ぜひお越しください。



- 開催日時** 2017年6月21日[水] 19時～[開場18時30分]
- 開催場所** 東京堂書店神田神保町店6階東京堂ホール
- 参加費** 500円[*ドリンクなし]
- 参加方法** 要予約
*店頭または電話 [03-3291-5181]、東京堂書店HP[専用応募フォーム]にてお申込みください。

『文字と書の情報』『書のひみつ』ダブル刊行記念！ 古賀弘幸さん × 山本貴光さん

